

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台	
2 指定管理者	公益財団法人せんだい男女共同参画財団	
3 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 令和2年度 51,563人 (※1) (前年度比 -73.2%) 令和元年度 192,066人 (※2) 平成30年度 213,162人 (※3)</p> <p>※1・2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置については下記①～⑦参照。 ①令和2年2月20日以降の予約について、感染拡大防止を理由に利用を取りやめた場合は施設使用料を全額返金。 ②令和2年3月5日から5月31日までの利用にかかる新規申込受付を停止（ギャラリーホール、スタジオホール、セミナーホール、調理実習室については6月18日まで）。 ③令和2年4月10日から5月31日までの利用自粛を要請。 ④令和2年6月19日から令和3年9月30日までのギャラリーホール及びスタジオホールの利用について、定員の半数以下（令和2年9月19日利用分以降は条件緩和あり）での利用を条件として、施設使用料の50%を減免。 ⑤令和3年3月27日から5月11日までの利用にかかる新規申込受付を停止。 ⑥令和3年3月27日から5月11日までの利用自粛を要請。 ⑦令和2年3月5日から令和3年5月31日まで予約なしで利用できるスペースを利用休止。 ※3 改修工事のため、平成31年2月12日臨時休館。</p> <p>《事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営 ・男女共同参画に関する市民活動の支援及び交流の促進 	
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 195,025千円 (196,263千円) ・ その他市が負担した費用 82,927千円 (40,014千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 15,159千円 (29,956千円) ・ その他収入 277千円 (560千円) 	
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>①利用者アンケートの実施 令和2年11月12日から12月11日まで施設利用者に対してアンケート調査を実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示した。</p> <p>②センター利用団体交流会の実施 「男女共同参画推進せんだいフォーラム2020」最終日に、センター利用団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。</p> <p>③市民活動スペースでの利用者の声の聴取 市民活動スペースの利用票に記入欄を設け、意見や感想を集めている。意見等については、即時対応を検討し、改善につなげている。</p>	

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向け、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、会議や研修の機会を通じて意識を共有している。また、利用者が公平・公正に施設を利用できるよう、情報提供や受付を行うとともに、市民活動スペースの運営や財団の市民活動サポート事業などを通して市民の自主的な活動をサポートしている。	21/21
II 施設の運営管理体制	職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、内部研修によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。	31/30
III 施設・設備の維持管理	建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、随時点検を行い、必要に応じ修繕を行っているほか、工事等による利用者の安全や利便性への影響を最小限とするよう、ビル管理会社、工事会社との連絡調整を適切に行っている。併せて、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ビル全体のゴミ分別に協力するとともに、利用者にもゴミ分別や節水を呼びかけるなど積極的な対応を行っている。	20/20

IV サービスの質の向上	<p>服装や身だしなみ、電話窓口対応など普段から適切な対応に努め、また、利用者のニーズを汲み取る力を培うための内部研修を実施するなど更なる窓口サービスの質の向上を図った。このほか、利用者アンケートや市民活動スペースでの利用票、懇談会などを通じて積極的に利用者の意見を把握し、利用者が随時施設に提案や意見を寄せられるよう、問合せ先をわかりやすく掲示するなど、適切な対応を行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>施設の使用許可、使用料徴収や収納、還付事務等については規程類に従って適切に行われている。また、社会情勢を捉えた講座を継続的に開講するとともに、受講者から派生した自主活動グループの支援を継続するなど、専門性を活かした事業を展開している。なお、令和2年度からは「ジェンダー論講座」で学生向けの割引制度を導入するなど、若年層へのより一層の働きかけを行っており、着実に成果を挙げている。</p>	20/19

三 評価総括

《指定管理者（（公財）せんだい男女共同参画財団）による自己評価》	
<p>仙台市の男女共同参画推進の拠点として、エル・ソーラ仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的に則った管理運営を行っている。6階の2つのホールをはじめ、多様な諸室、設備の管理、使用の受付を協定書・仕様書に沿って円滑に実施するとともに、施設受付窓口・施設管理・市民活動スペースが相互に連携し、「男女共同参画推進センター」として一体的にアピールするよう努めている。また、第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム「女性と防災」テーマ館(2015年3月)の成果を継承すべく、女性と防災まちづくりに関する事業に力を入れている。開館から30年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいることを踏まえ、年次計画に沿って修繕を着実に遂行し、利用者の安全性・利便性の確保に努めている。</p> <p>(1) 施設の管理運営</p> <p>利用者がより充実した活動ができるよう、ニーズの聞き取りなど丁寧な窓口対応を心がけ、館内掲示や備品等説明資料は、利用者目線に立った分かりやすい表示にしている。毎月、保守点検日に課内会議やエル・ソーラ仙台受付担当職員とのミーティングを行い、サービス向上のための情報共有を図っている。また、利用者が安心して施設を利用できるよう新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じるとともに、施設使用料の還付事務や減免制度に関するマニュアルを整備し、手続きの円滑化につなげた。</p> <p>(2) 男女共同参画推進に関する市民活動の支援及び交流の促進</p> <p>市民活動スペース運営管理委託団体である（特非）イコールネット仙台とともに、毎朝のミーティングや定期的な打合せを通して情報共有に努めた。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設の利用休止期間中は、センター利用団体が行うオンラインイベント等の市民活動情報をメールで配信し情報発信を支援したほか、交流会を通じてコロナ禍における活動の課題や工夫について情報交換する機会を設けた。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>エル・パーク仙台の管理運営にあたり、施設利用の相談や申込受付について丁寧に対応している。また、利便性の向上のため各種申込書の見直しや機器類の操作マニュアルの改訂を行うなど、利用者目線を意識して改善に取り組んでいる。施設の維持管理については、更新・修繕等を適切に行っているほか、断続的に工事を実施している間も、利用者が安全かつ安心して施設を利用できるよう努めている。</p> <p>市民活動スペースについては、市民活動団体（特定非営利活動法人イコールネット仙台）との協働で運営を行い、定期的な打ち合わせ等を通し情報の共有に努めている。さらに、同団体の活動実績やネットワークを生かした柔軟できめ細かな情報提供や相談支援を実施することにより、市民活動支援に大きな役割を果たしている。</p> <p>指定管理者として、関係する条例等の内容に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、日頃から地域の女性たちとのつながりや多様な主体との連携を深めていくことで発信力を高めるなど、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理を行っていると評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：市民局協働まちづくり推進部男女共同参画課